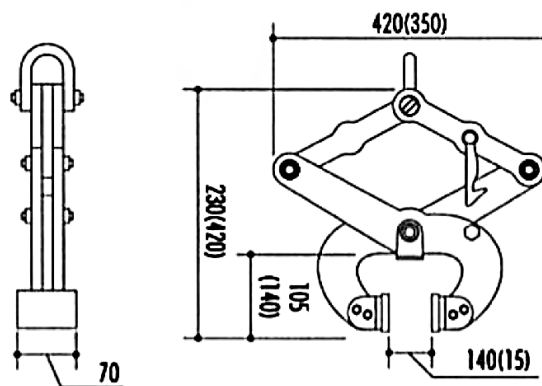


マシンバイス UP-500

取扱説明書



SAN・KYO

＜取扱い説明書＞

この度は(株)サンキョウ・トレーディング製品をお買上げ頂き誠に有り難うございます。この取扱い説明書は製品を正しくご使用頂き安全な作業を行う為に、必ずお読み下さい。内容をご理解しご使用をお願いいたします。

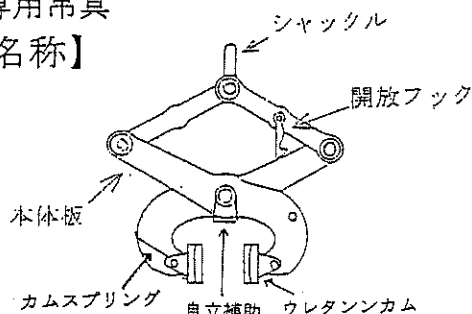
尚、別途添付の「取扱い注意書・警告書」も必ずお読み下さい。毎作業時には、本説明書を確認出来るように大切に保管して下さい。

【用途】 U字溝、コンクリート2次製品敷設専用吊具

【仕様】

定格容量	500kg (2台使用時)
つかみ巾	40mm～130mm
自重	6kg (1台)
入数	2台/1セット

【各部名称】

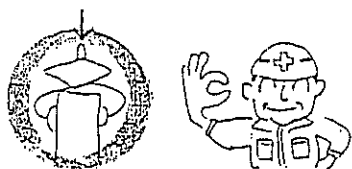


ご使用前に

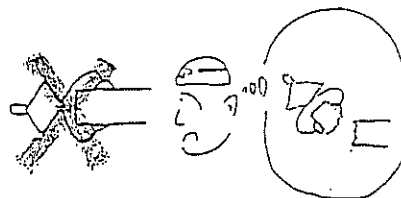
厳守 → 本機は必ず1セット2台でご使用下さい。
 点検 → 吊具に変形、破損、亀裂、磨耗、ボルト類の緩み等異常が無いか確認をして下さい。

—— 使用 方 法 ——

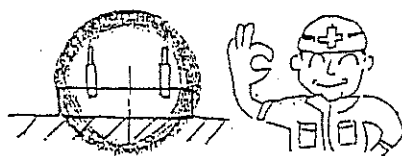
1. 吊具の挟着部を開いた状態で、吊荷に対し垂直に挿入して下さい。



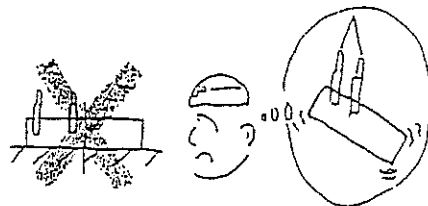
⚠ 横向き等の取付けは厳禁!



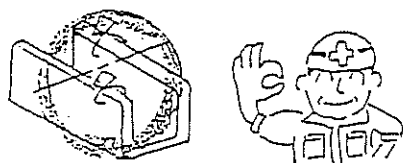
2. 取付け位置は吊荷の重心より均等に振り分け設置して下さい。



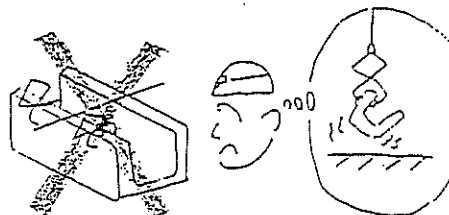
⚠ 片寄った設置は厳禁!



- U字溝に対しては重心位置より左右均等に振り分け設置して下さい。

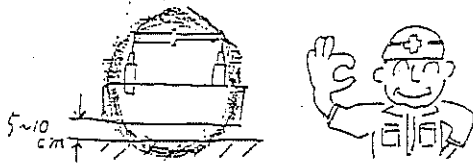


⚠ 片側だけの設置は厳禁!

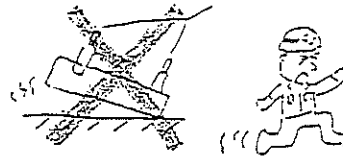


3. 吊上げを開始して下さい。

※ 地面より5～10cm位吊り上げ、荷が水平に吊れているか御確認下さい。



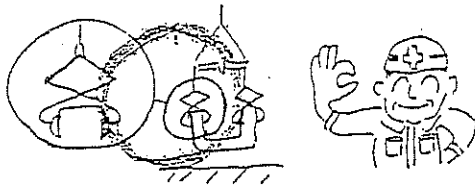
⚠ 吊上げ方向は必ず垂直へ上げる。斜め方向からの吊上げは厳禁！



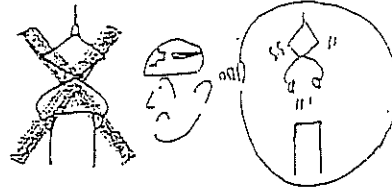
自立補助はあくまでも吊具が倒れないようにする補助装置です。吊上げの際は、吊具が傾いたりせずに挟着するようにして下さい。

吊具が垂直に吊りあげられる用なワイヤー設定をして下さい。吊具を内側へ引き寄せて無理に吊ると、自立補助が抵抗し、本体の破損・曲がりの原因になります。

4. 挟着状態を確認して下さい。



⚠ 荷を浅く挟着した状態での吊上げは厳禁！



〽〽〽 吊ワイヤーの確認 〽〽〽

※ 次のワイヤーロープは使用禁止です。

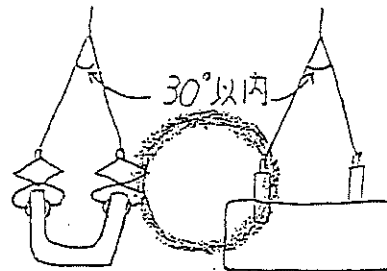


安全荷重が荷の重さに対して不足しているもの・押しつぶれ・摩耗・腐食・断線・キンクのあるもの

・ 吊角度

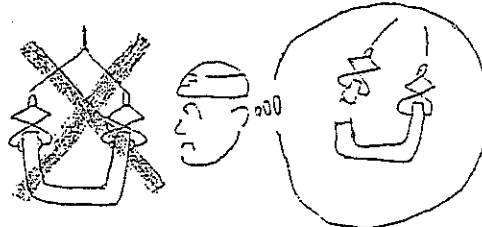
(例) じ字溝

吊角度30°以内を厳守出来る長さの物を御使用下さい。

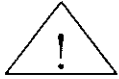


⚠ 吊角度が30°以上の設定は厳禁です。

吊具は内側へ引き寄せられる力が強くなり、荷・吊具共・破損・変形などが起きる可能性があり大変危険です。



注 意 事 項



- ・本機は吊上げ・敷設専用機です。埋設物の引き抜き等は、絶対に行わないで下さい。
- ・用途外（定格容量、形状、材質）のものには絶対にご使用しないで下さい。
- ・吊上げ作業中は絶対に荷の下に身体をいれないで下さい。又、作業者は吊荷より安全な距離を確保し作業にあたって下さい。
- ・本機での吊荷の吊上げには運搬荷役機械（クレーン）以外のご使用にならないで下さい。
- ・吊荷を吊上げたままの運搬荷役機械（クレーン）の移動は、ブロック落下の原因となり大変危険です。絶対に行わないで下さい。
- ・雪、雨天時の使用はしないで下さい。ウレタンパットが滑りやすくなります。
- ・ウレタンパット部に、水滴、泥、油、砂等の付着物が付いた場合は、きれいに取除いて下さい。（特に、オイル系が付着した場合、ふき取っても滑りやすくなる場合がございます。）
- ・凍結した吊荷、雨などで水に濡れている吊荷は吊らないで下さい。
- ・吊り上げの始めに、吊荷が滑らないか確認して下さい。
- ・吊荷を吊る際、本機（吊具）が傾いたり、荷を浅く挟着した状態での吊上げはしないで下さい。
- ・本機（吊具）が傾かない長さのワイヤーをご使用下さい。（特に、本機（吊具）を内側へ引張り、傾けられ、自立補助が抵抗した状態でむりに引張り続けると、本体が曲がる恐れがあります。）
- ・吊具は垂直に吊上げて下さい。
- ・自立補助はあくまでも補助装置でございます。吊上げの際は、吊具の元に作業員をおいてください。良い状態（垂直吊上げ、傾きなし）で吊荷を挟着するようにして下さい。
- ・吊荷の中心部で吊って下さい。
- ・ウレタンパットが極端に減ったり、ひび割れ等が見られましたら危険ですので、速やかに交換して下さい。
- ・ウレタンパットの止ビスが、ウレタンパットが減り、ウレタン面に出ていないか確認して下さい。止ビスが出ていると吊荷にキズがつきます。異常がある場合は、ウレタンパットの交換等をして下さい。
- ・ウレタンパットが極端に古くなったものは交換して下さい。
- ・ウレタンカムスプリングが破損等で機能していない場合は、交換して下さい。
- ・吊具に変形、破損等、異常が認められる場合は、使用しないで下さい。
- ・本体が変形した場合、無理やり変形を修正して使用しないで下さい。（一度変形いたしますと強度が低下します。）
- ・改造等しないで下さい。
- ・急速な吊上げ、吊り下げはしないで下さい。
- ・吊具、吊荷に衝撃をあてたり、揺らしたりしないで下さい。
- ・吊上げる際、横引きなどはしないで下さい。
- ・吊具を吊荷なしで吊上げている際、吊具を吊荷や他の物に当てたり、引掛けたりしないで下さい。
- ・吊具で手などをはさまないで下さい。